

仙台と姉妹都市締結44周年

リバサイドの鐘みんなで鳴らそう



仙台市役所前にあるリバサイドの鐘と、リバサイド交流連絡会の戸袋勝行代表（仙台市青葉区）

9日 市役所前で記念祭

仙台市と国際姉妹都市を結んでいる米国・リバサイド市から三十年以上に贈られた「リバサイドの鐘」を鳴らす記念祭が九日、仙台市役所前で行われる。市民グループ「リバサイド交流連絡会（戸袋勝行代表）」の主催で、市民の自主的なイベントによって鐘が鳴るのは初めて。九日は国際姉妹都市を締結して四十四周年の記念日に当たる。連絡会はこの日を「リバサイド・デイ」として広くアピールしたいと考えて、「鐘を市民の心に響かせたい」と意気込んでいる。

リバサイドの鐘は、アメリカ先住民が雨（い）に使う十字架（レインクロス）からデザインされたリバサイド市のシンボルをかたどっている。一九八七年十一月、国際姉妹都市締結十周年の記念としてリバサイド市から仙台市に寄贈され、市役所前の植え込みに設置された。

鐘はリバサイド市の公式訪問団が訪れた際に、両市関係者の手で鳴らされてきたが、「市民が鐘を鳴らす機会はなかった」（市国際

交流課）ため、市民にはあまり知られていない。今年四月には、仮装行列やマジックショーなどに「フマソン大会（十一月）に一度の行事、「オレンジ」に参加する国際姉妹都市の選手らが市役所を訪問する予定で、リバサイド市の選手たちは「リバサイド・デイ」記念祭にも参加することになっている。戸袋代表は「せっかく頂いた鐘。市民にもっと知ってもらい、両市の交流が層活発になるきっかけになればうれしい。今後も毎年、障害者ら、それぞれリバサイドと交流を深めている仙台市内の二十四団体で構成。これまで、公式訪問団から、仙台市役所前にあるや仙台ハーフマソン大会「リバサイドの鐘の前で。国際姉妹都市枠で出場するに国際姉妹都市代表02問い合わせは戸袋代表02（265）2918へ。交流の進展を願う」

市民団体 交流の進展を願う